

2025年3月期 第2四半期 決算説明資料

2024年11月13日

デクセリアルズ 株式会社

2025年3月期（FY24）第1四半期より国際財務報告基準（IFRS）を適用しております。
また、2024年3月期（FY23）第2四半期についても、IFRSに組み替えて比較分析を行っております。

■ FY24.1H 決算概要

■ FY24 業績見通し

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

決算ハイライト

FY24.1H 実績

- 1H累計、2Q単体とも前年同期比 増収増益
- 蛍光体フィルムの終息の影響を除いても、増収増益
- 粒子整列型異方性導電膜（ACF）のグローバルでの拡大をはじめ、差異化技術製品の浸透、デファクトスタンダード化が継続
- 自動車向け反射防止フィルムも新規案件獲得など好調、事業ポートフォリオ拡大に向けた取り組みを継続

FY24 見通し & 株主還元









- 為替の影響を除く業績は、年間計画達成に向けてほぼインラインで推移
年間の業績見通し、下期想定レート（140円/米ドル）、年間配当額に変更なし
- 年間業績達成の蓋然性およびB/Sの状況を踏まえ、株主還元実施
 - 中間配当総額：47億円（分割前1株当たり配当金 78円）
 - 自己株式取得額：50億円（取得した自己株式の全株式を消却予定）

決算概要

FY24.1H (2024.4.1~2024.9.30)



FY24.1H 主要最終製品の市場・当社動向（前年同期比）

最終製品	市場動向	当社動向
タブレット		 <ul style="list-style-type: none"> 市場全体は前年並み 顧客の最終製品の有機ELディスプレイ（OLED）へのシフトにより、蛍光体フィルムは終息
ノートブックPC		 <ul style="list-style-type: none"> 2Qは市場回復、1H全体としてほぼ前年並み ハイエンド市場は堅調に推移し、当社反射防止フィルムが拡大
スマートフォン		 <ul style="list-style-type: none"> 中華圏、韓国スマホメーカーを中心に市場は上向き フレキシブルOLEDのミドルレンジへの浸透により、当社の粒子整列型ACFが引き続き拡大
自動車		 <ul style="list-style-type: none"> 完成車市場はほぼ横ばい 新規案件を獲得し、反射防止フィルムの採用拡大

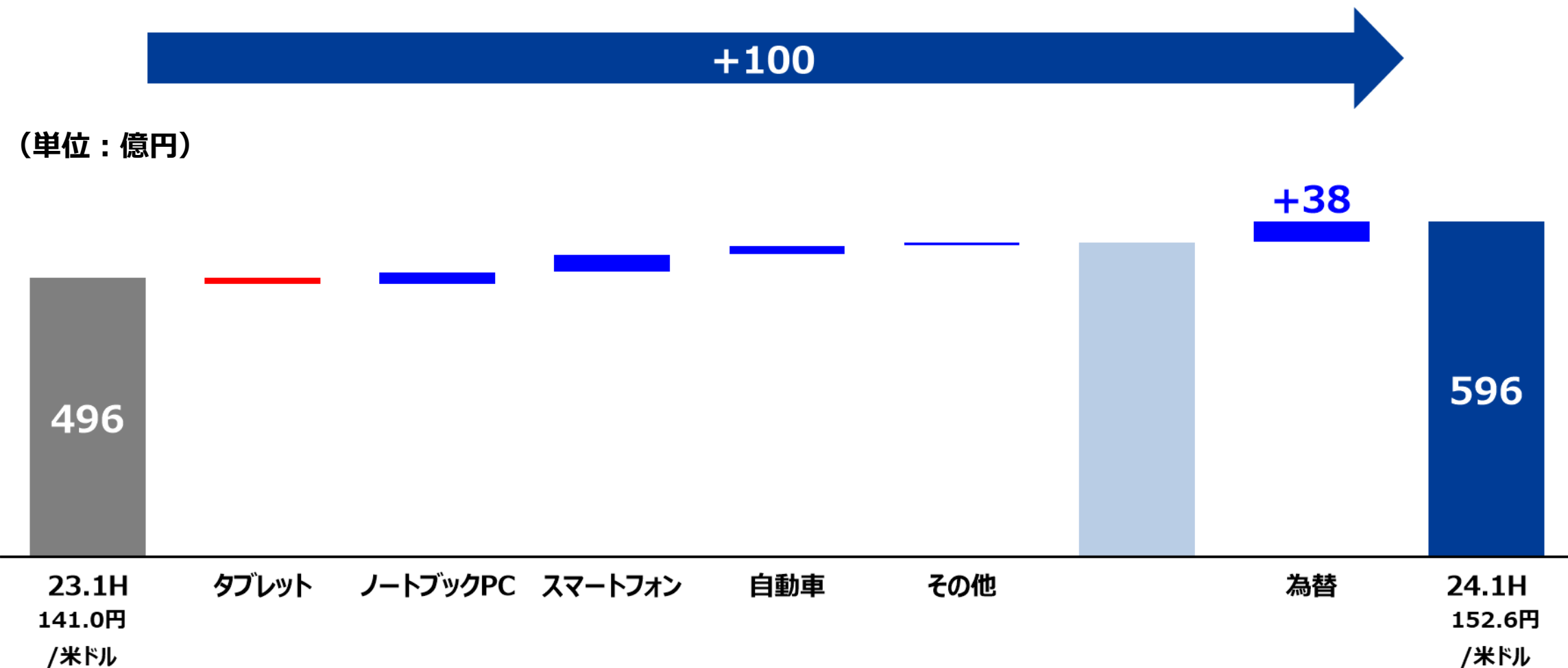
FY24.1H 連結業績サマリー

(単位：百万円)	FY23.1H	FY24.1H	前年同期比 増減	
				為替変動の影響除く
売上高	49,595	59,635	+20.2%	+12.5%
事業利益	16,146	22,320	+38.2%	+17.8%
中間利益*	10,398	15,856	+52.5%	
1株当たり中間利益*	59.73円	92.27円	+54.5%	
EBITDA**	18,815	25,564	+35.9%	+18.3%
EBITDAマージン	37.9%	42.9%	+4.9%Pt	+1.9%Pt

* 親会社の所有者に帰属する中間利益に読み替え

** EBITDA=事業利益+売上原価並びに販売費及び一般管理費として計上される減価償却費

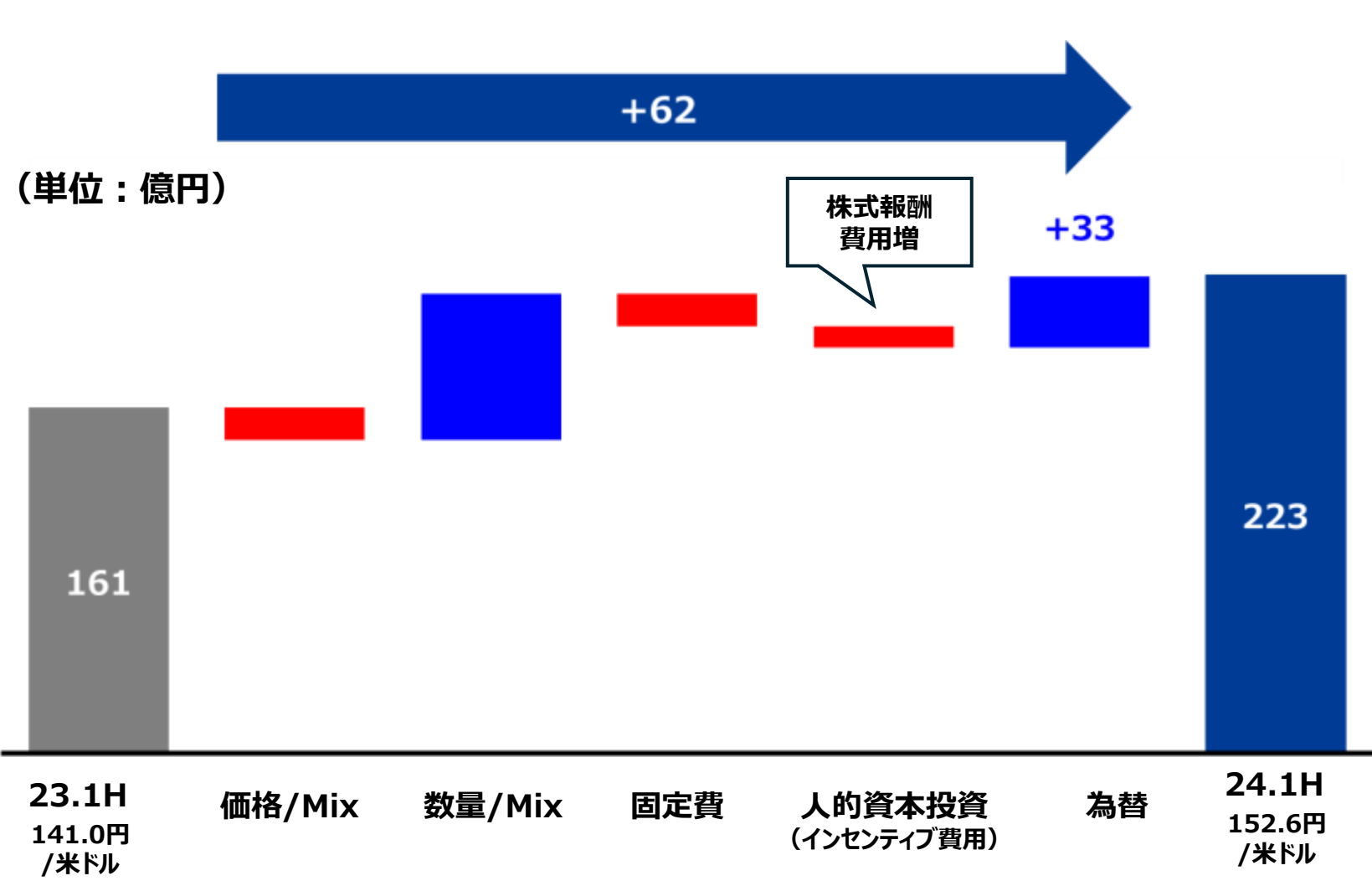
FY24.1H アプリケーション別売上増減（前年同期比）



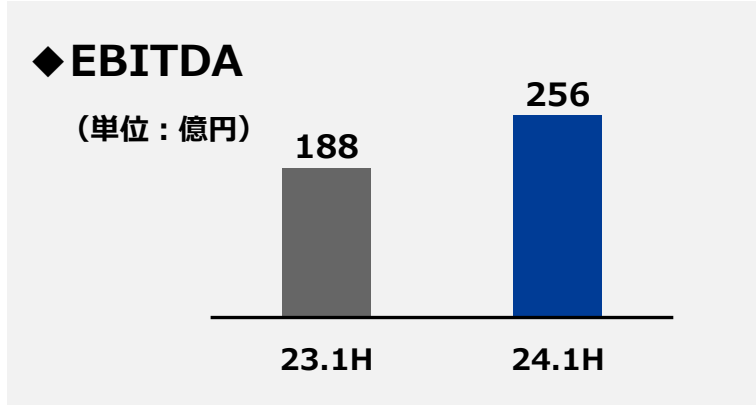
(注) 一部推定を含む

(注) ノートブックPCはデスクトップモニターを含む

FY24.1H 事業利益要因分析 (前年同期比)



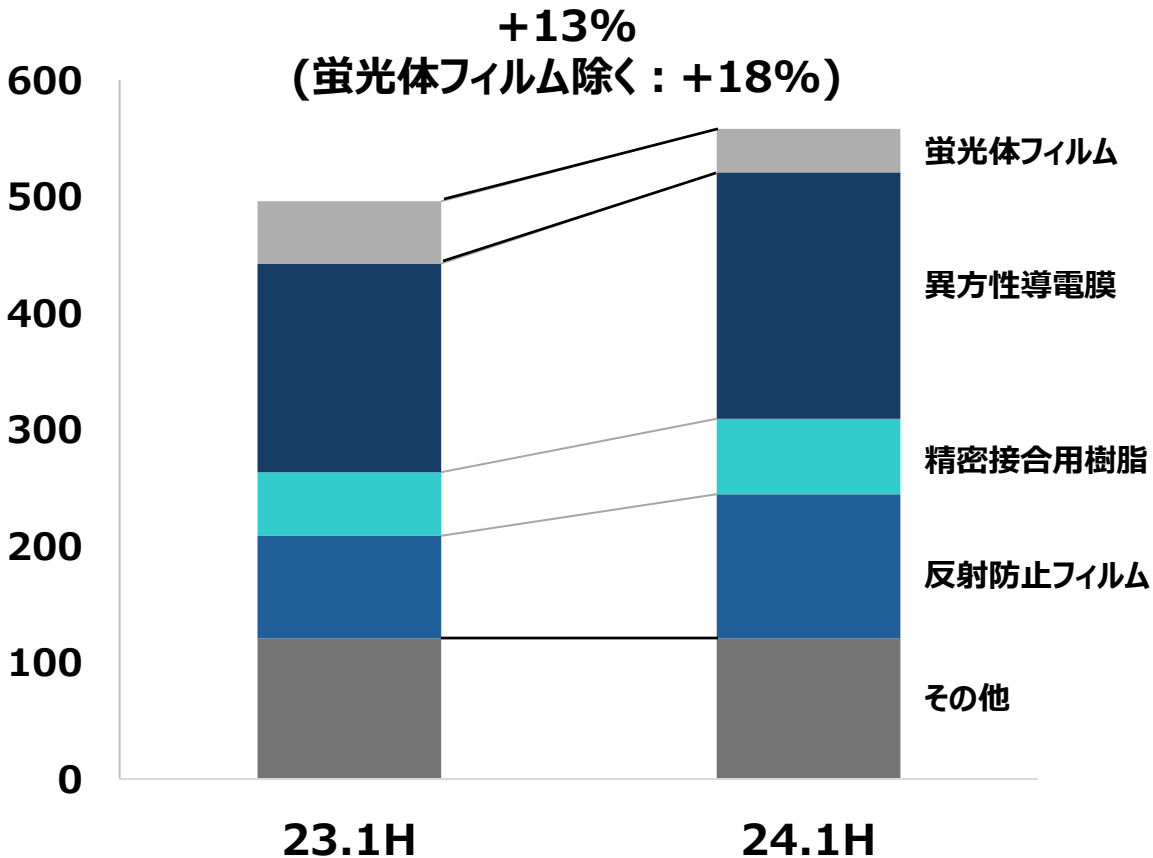
- 価格/Mix**
- マイナス貢献： 反射防止フィルム
精密接合用樹脂
表面実装型ヒューズ
- 数量/Mix**
- プラス貢献： 反射防止フィルム
異方性導電膜 (ACF)
精密接合用樹脂



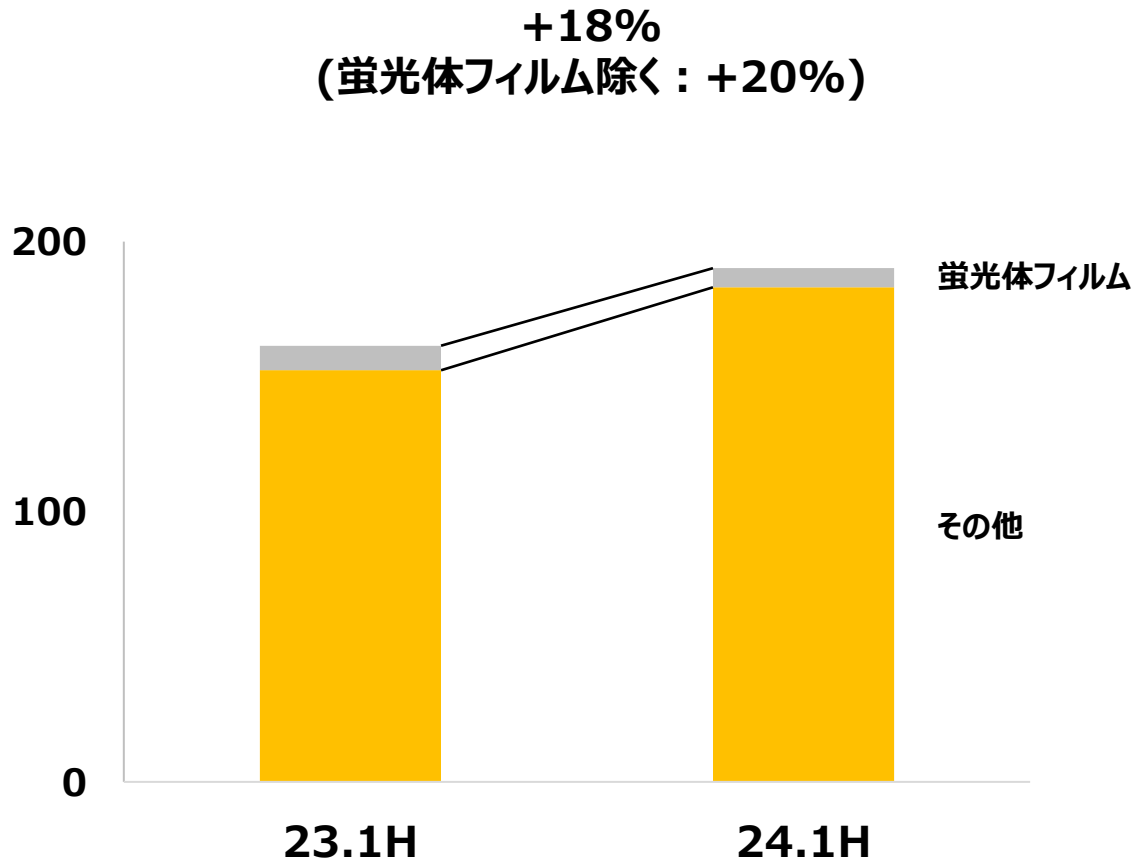
蛍光体フィルムを除く1H業績比較（為替前提：141.0円/米ドル*）

（単位：億円）

売上高



事業利益



*23.1Hの為替レート

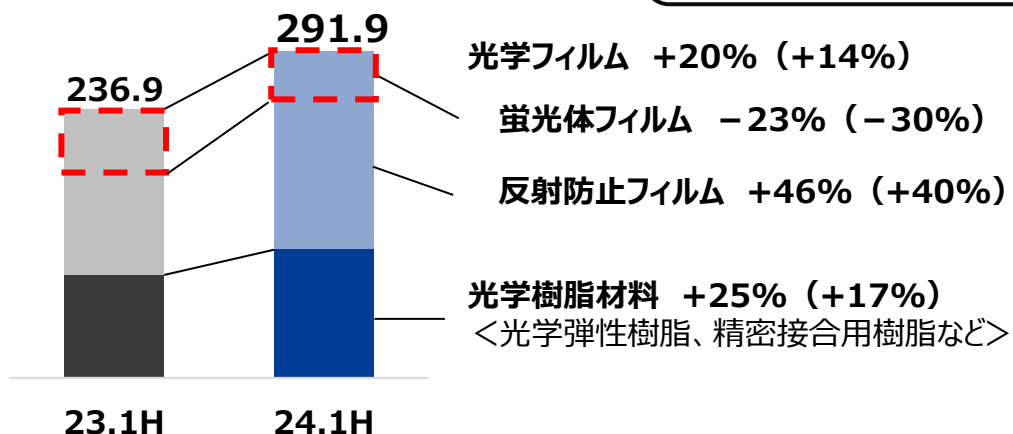
FY24.1H 光学材料部品セグメント

◆ カテゴリー別売上高

(単位：億円)

前年同期比

売上高 **291.9**億円 +23%
為替変動の影響除く (+16%)

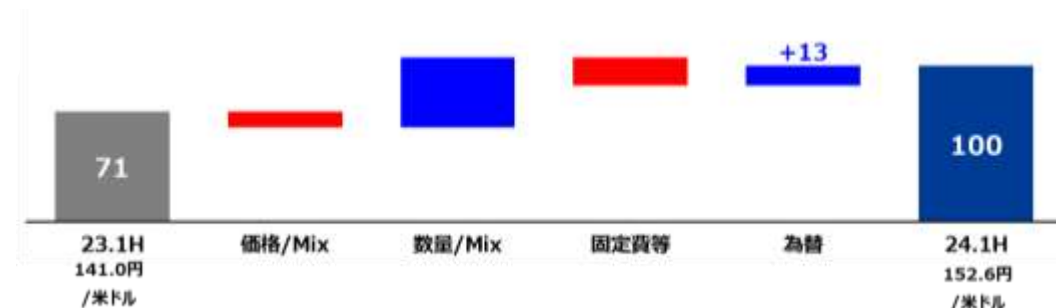


◆ 事業利益変動要因

前年同期比

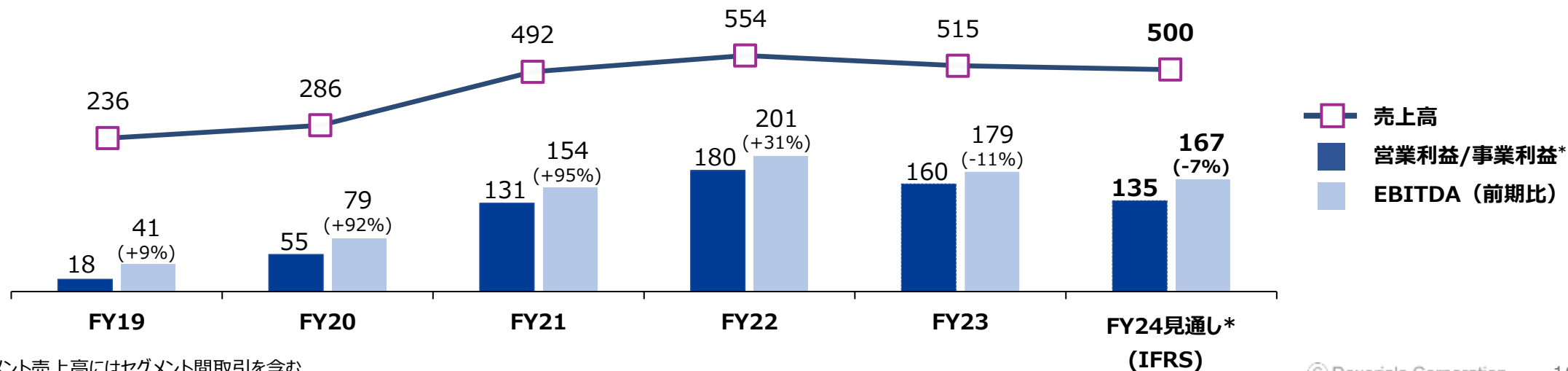
事業利益 **99.8**億円 +42%
為替変動の影響除く (+23%)
EBITDA **116.6**億円 +41%

(単位：億円)



◆ 業績推移

(単位：億円)



(注) 光学材料部品セグメント売上高にはセグメント間取引を含む

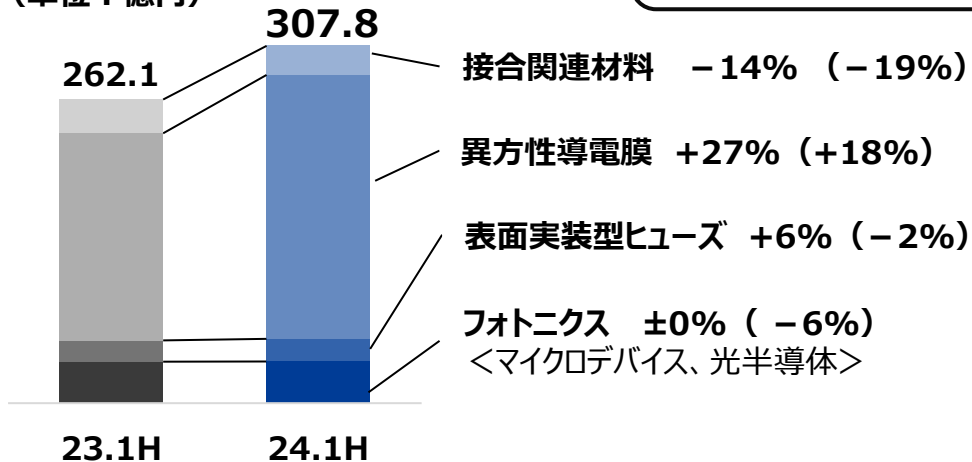
FY24.1H 電子材料部品セグメント

◆ カテゴリー別売上高

前年同期比

売上高 **307.8億円** +17%
為替変動の影響除く (+9%)

(単位：億円)

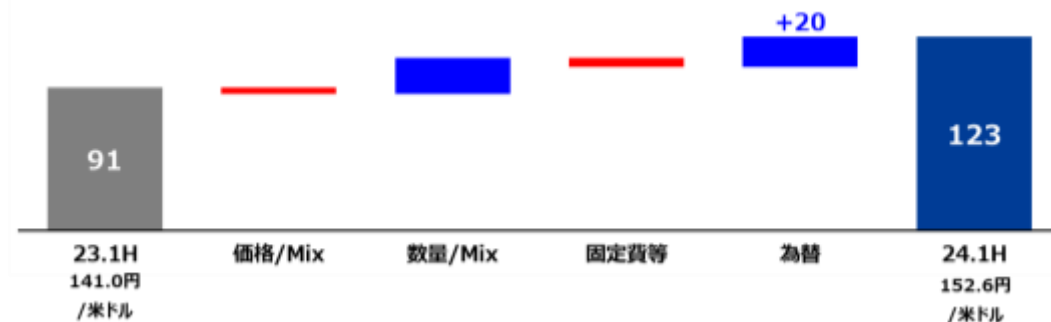


◆ 事業利益変動要因

前年同期比

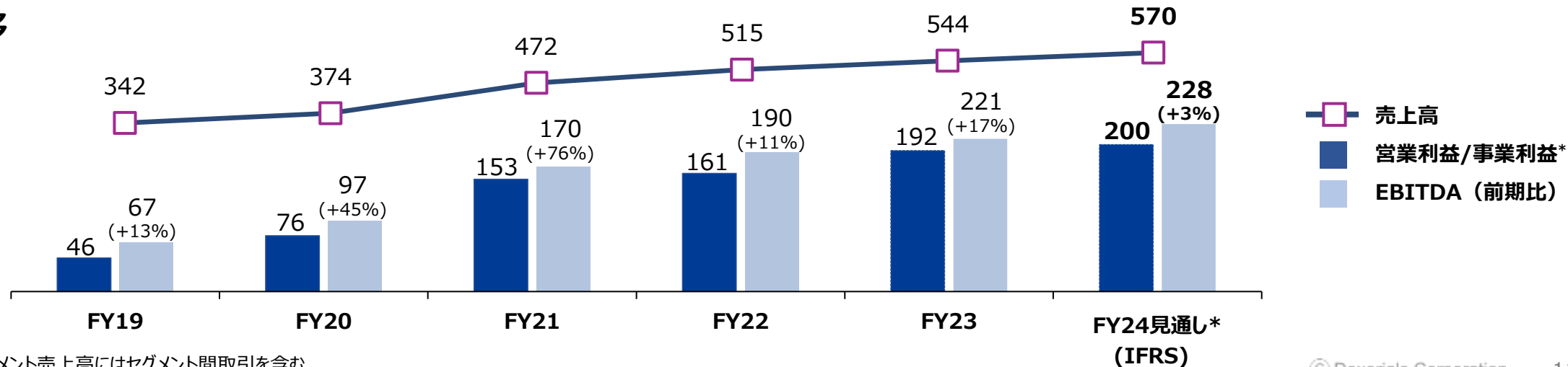
事業利益 **123.3億円** +36%
為替変動の影響除く (+14%)
EBITDA **138.9億円** +32%

(単位：億円)



◆ 業績推移

(単位：億円)



(注) 電子材料部品セグメント売上高にはセグメント間取引を含む

業績見通し

FY24 (2024.4.1~2025.3.31)



FY24 連結業績見通し：変更なし

(単位：百万円)	FY23 144.6円/米ドル 日本基準	FY23 144.6円/米ドル IFRS*	FY24見通し	
			2H：140.0円/米ドル IFRS	前期比増減額 為替変動の影響除く
売上高	105,198	105,198	107,000	+1,802
営業利益	33,421	-	-	-
事業利益 (IFRS)	-	34,086	33,500	-586
税引前利益 (IFRS)	-	-	32,000	-
経常利益	30,028	-	-	-
当期純利益	21,382	22,575	23,000	+425
1株当たり当期純利益	368.71円		132.20円	
(参考)のれん償却前	408.08円		-	
1株当たり配当額	100円		中間78円・期末26円	
自己株式取得総額	5,999		-	
総還元性向(のれん償却前)	50.8%		-	
DOE	7.3%		9.8%	
EBITDA	40,024	39,214	39,500	+286
ROIC	22.3%	22.0%	18.8%	-3.2%Pt
ROE	27.1%	29.5%	25.5%	-4.0%Pt
(参考)のれん償却前	30.0%			

(注) 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益 (FY23日本基準) および親会社の所有者に帰属する当期利益 (FY23IFRS、FY24見通し) に読み替え
 EBITDA (FY23日本基準) = 営業利益 + 営業費用として計上される減価償却費 + のれん償却費、EBITDA (FY23IFRS、FY24見通し) = 事業利益 + 売上原価並びに販売費及び一般管理費として計上される減価償却費
 ROIC (FY23日本基準) = (営業利益 × (1 - 実効税率)) ÷ (自己資本 + 有利子負債) × 100、ROIC (FY23IFRS、FY24見通し) = (事業利益 × (1 - 実効税率)) ÷ (自己資本 + 有利子負債) × 100
 ROE (FY23日本基準) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 自己資本 × 100、ROE (FY23IFRS、FY24見通し) = 親会社の所有者に帰属する当期利益 ÷ 自己資本 × 100
 総還元性向(のれん償却前) = (配当支払総額 + 自社株買い総額) ÷ (当期純利益 + のれん償却額) × 100
 配当額は中間については2024年10月実施の分割前の金額を記載し、期末については当該株式分割を考慮した金額を記載しております

*FY23のIFRS実績値は日本基準からIFRSへの組み替えにあたり、5月13日開示分からさらに調整をおこなっております

成長投資と株主還元の両立

◆連結バランスシートサマリー

(単位：百万円)

	2024年3月末	2024年9月末	増減額
現金及び現金同等物	35,328	42,307	+6,978
流動資産	69,442	78,985	+9,543
有形固定資産	37,390	47,262	+9,871
非流動資産	70,931	82,117	+11,185
資産合計	140,373	161,102	+20,728
有利子負債	23,198	21,536	-1,662
負債合計	55,251	63,510	+8,259
資本合計	85,122	97,591	+12,469
負債及び資本合計	140,373	161,102	+20,728

上期の業績が順調に進捗

鹿沼第2工場の拡張工事が進展

◆株主還元方針に沿って配当・自己株式取得を実施

- 中間配当総額：47億円 (分割前1株当たり配当金 78円)
- 自己株式取得額：50億円 (取得した自己株式の全株式を消却予定)

Appendix

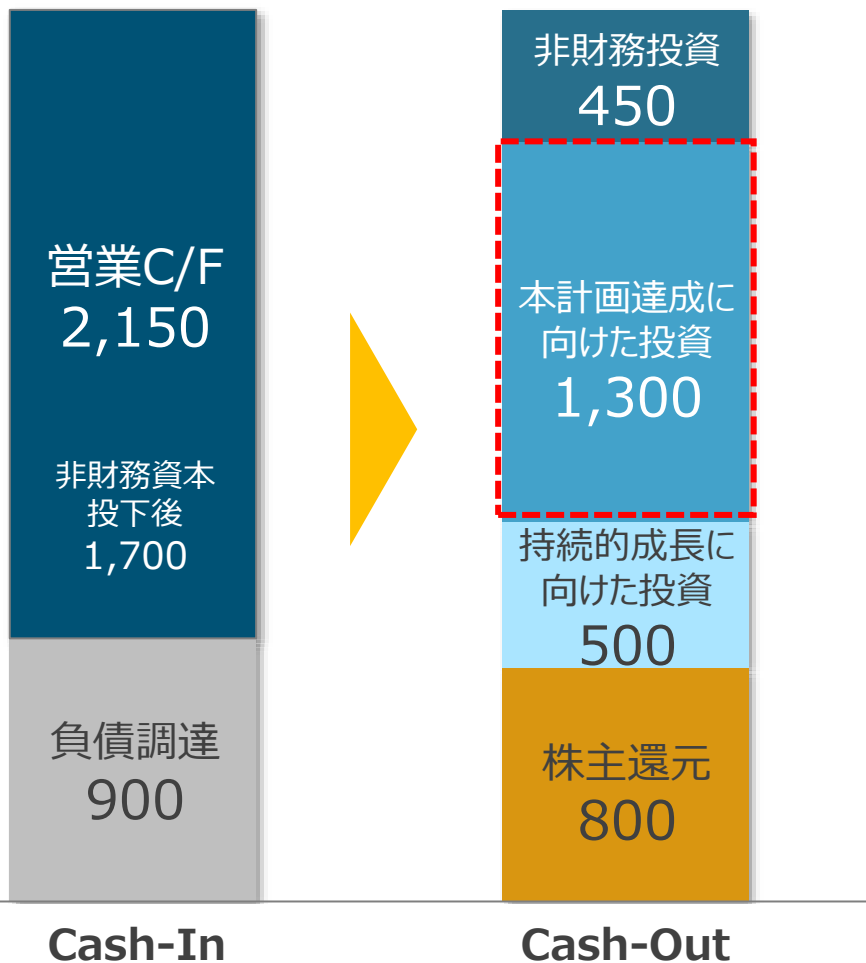


持続的成長に向けた取り組み

キャピタル・アロケーション

2024-2028中期経営計画
「進化の実現」より

中期経営計画期間 5年間累計 (億円)



非財務投資

本計画達成に向けた投資

持続的成長に向けた投資

株主還元

財務戦略

- マテリアリティである「人・技術」への投資
- 前中計の「約3倍」の投資を計画
- ROIC目標 14%程度

- ・成長領域（自動車・フォトリソ）での事業拡大
- ・既存領域における事業の質的強化
- ・経営基盤（営業機能など）の強化

- 蓋然性が高まった際の「追加投資枠」を確保
- 投資機会がない場合は追加還元を検討
- 総還元性向「60%」を目途に還元（5年間累計）
- 配当性向 40%を目途として、DOE7%下限とする方針
- Net D/E:0.45x、自己資本比率:50%を目安（FY28）

自動車事業

自動車事業のデザイン・イン&スペック・イン活動をグローバルで拡大

ドイツ セムソテック社へ出資



- ・人材の派遣（営業等）
- ・材料技術等のサポート
- ・販売網の共有
- ・生産インフラ強化



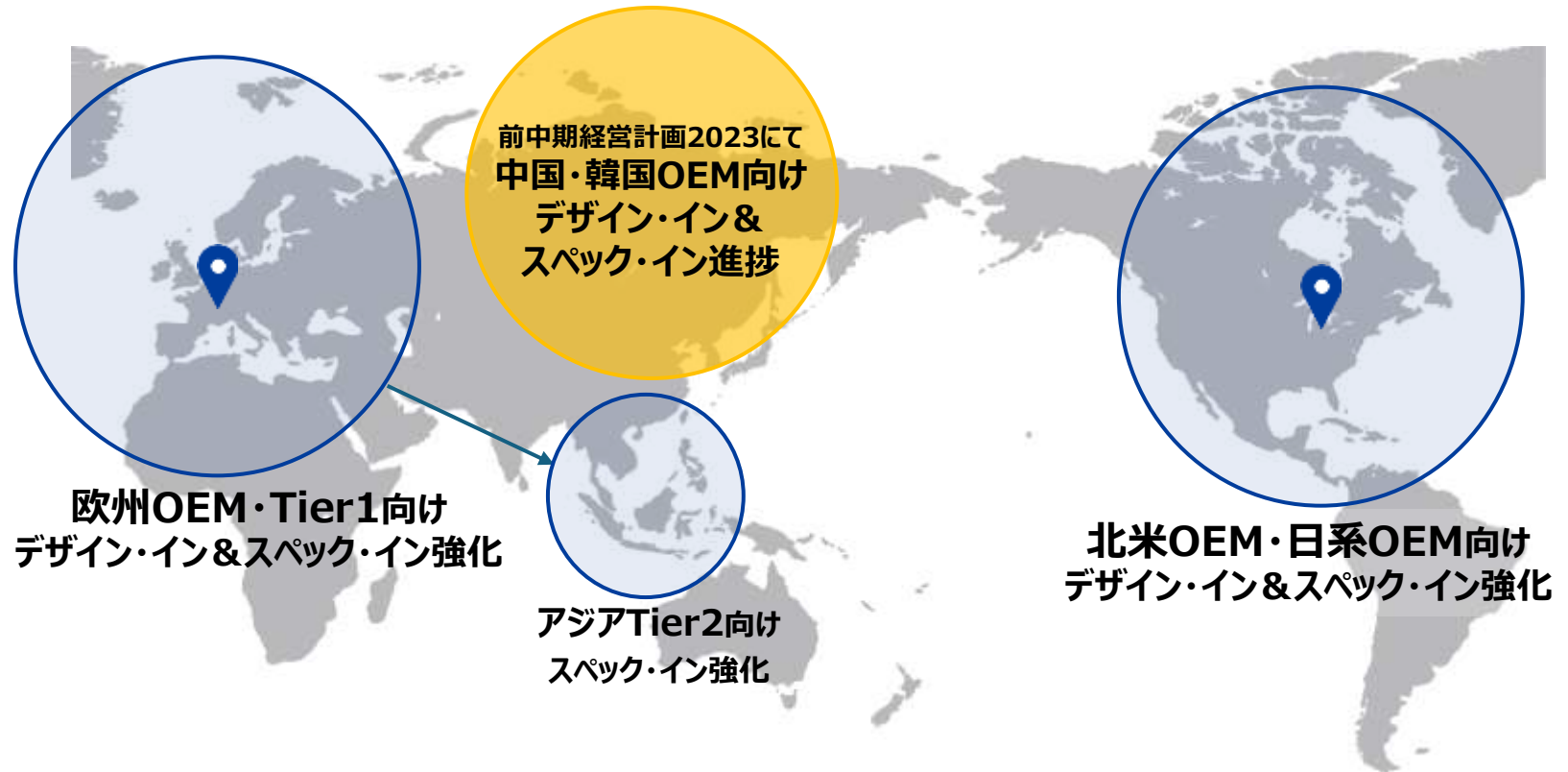
光学ソリューションセンター(ドイツ・カーム)

米国 デトロイトオフィス新設



デトロイトオフィス(ミシガン州・ノバイ)

- ・潜在顧客集中地域
- ・エンジニアリングマーケティングを強化

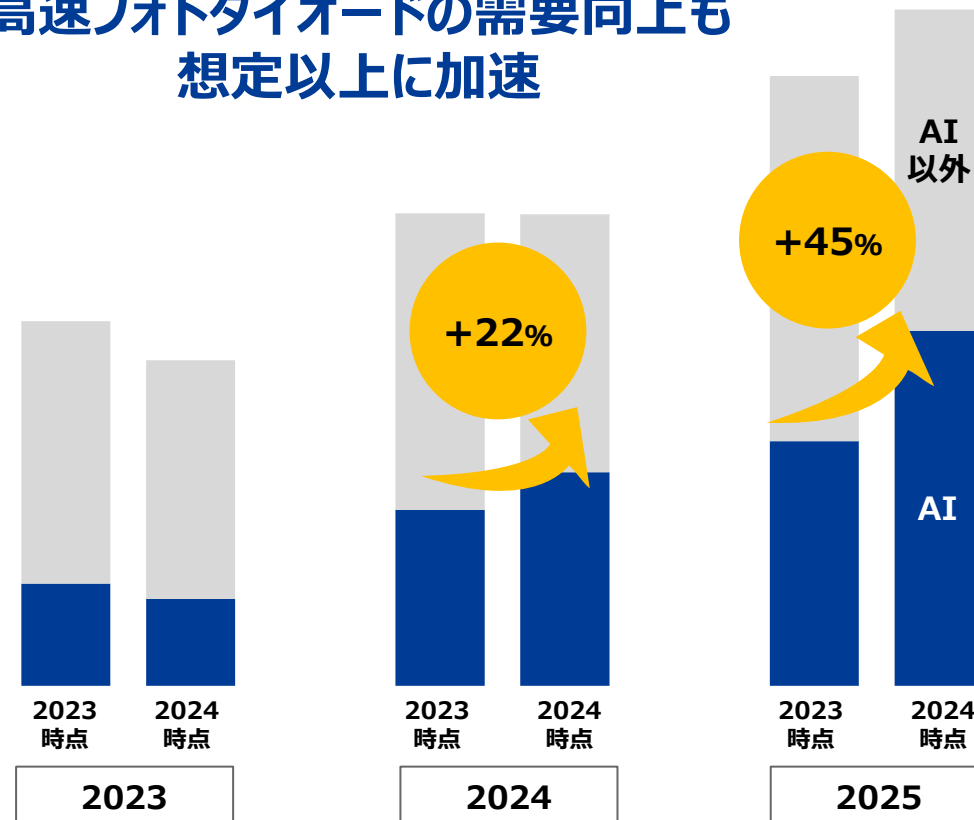


市場：生成AI向けデータコム
想定以上に生成AI需要が増加

当社：市場加速にしっかりとキャッチアップ

データコム・トランシーバの出荷金額

高速フォトダイオードの需要向上も
想定以上に加速



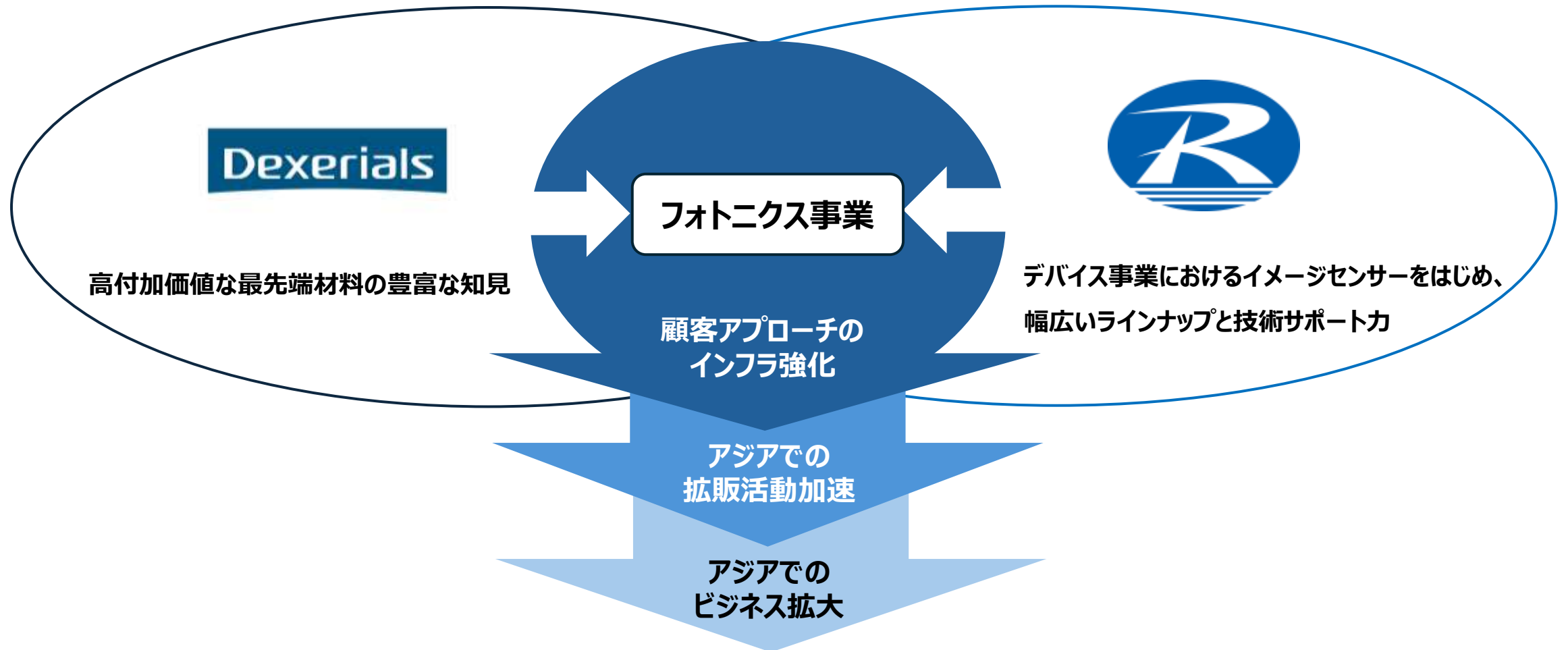
- ◆ 顧客からの追加案件獲得、新規顧客獲得
- ◆ キャパシティの増強に取り組む
- ◆ 次世代高速フォトダイオードの開発も順調に進捗



*引用元: LightCounting社 市場分析情報より

経営基盤の進化：営業機能の強化

当社の持つ高付加価値製品を、レスター社の強力なネットワークを通じて販売する活動をスタート



事業ポートフォリオの拡大に寄与

FY24.1H セグメント別売上高・事業利益

(単位：百万円)	FY23.1H	FY24.1H	前年同期比 増減
光学材料部品セグメント			
売上高	23,691	29,197	+23.2%
事業利益	7,053	9,984	+41.6%
事業利益率	29.8%	34.2%	+4.4%Pt
EBITDA	8,274	11,666	+41.0%
電子材料部品セグメント			
売上高	26,218	30,785	+17.4%
事業利益	9,092	12,335	+35.7%
事業利益率	34.7%	40.1%	+5.4%Pt
EBITDA	10,540	13,897	+31.8%
連結合計			
売上高	49,595	59,635	+20.2%
事業利益	16,146	22,320	+38.2%
事業利益率	32.6%	37.4%	+4.9%Pt
EBITDA	18,815	25,564	+35.9%

(注) 売上高にはセグメント間取引を含む

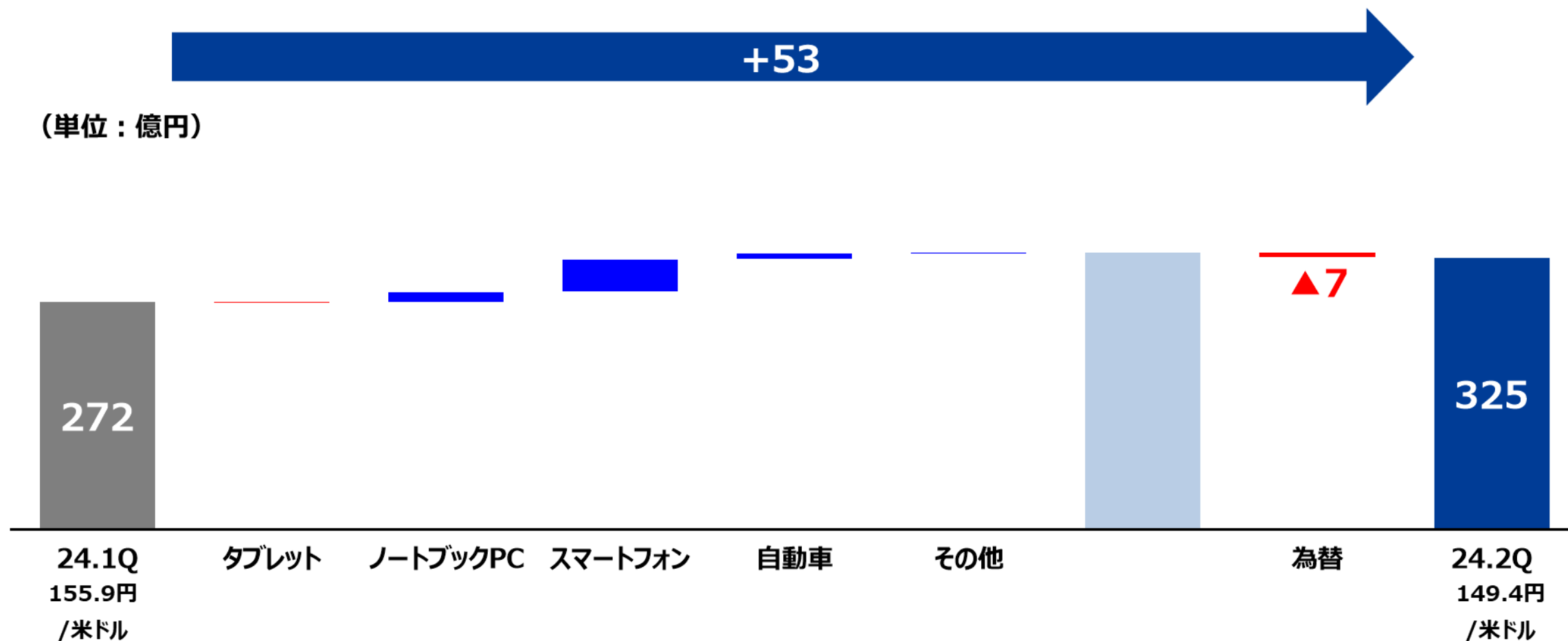
FY24 業績見通し セグメント別内訳：変更なし

(単位：百万円)	FY23 日本基準	FY24見通し IFRS
光学材料部品セグメント		
売上高	51,453	50,000
営業利益	16,040	—
営業利益率	31.2%	—
事業利益 (IFRS)	—	13,500
事業利益率	—	27.0%
EBITDA	17,887	16,700
電子材料部品セグメント		
売上高	54,387	57,000
営業利益	19,167	—
営業利益率	35.2%	—
事業利益 (IFRS)	—	20,000
事業利益率	—	35.1%
EBITDA	22,135	22,800
連結合計		
売上高	105,198	107,000
営業利益	33,421	—
営業利益率	31.8%	—
事業利益 (IFRS)	—	33,500
事業利益率	—	31.3%
EBITDA	40,024	39,500

(注) 売上高にはセグメント間取引を含む
(FY23)セグメント利益の合計と連結営業利益の差異はセグメントに帰属しないのれん償却額に相当

FY24.2Q アプリケーション別売上増減（前四半期比）

(単位：億円)



(注) 一部推定を含む

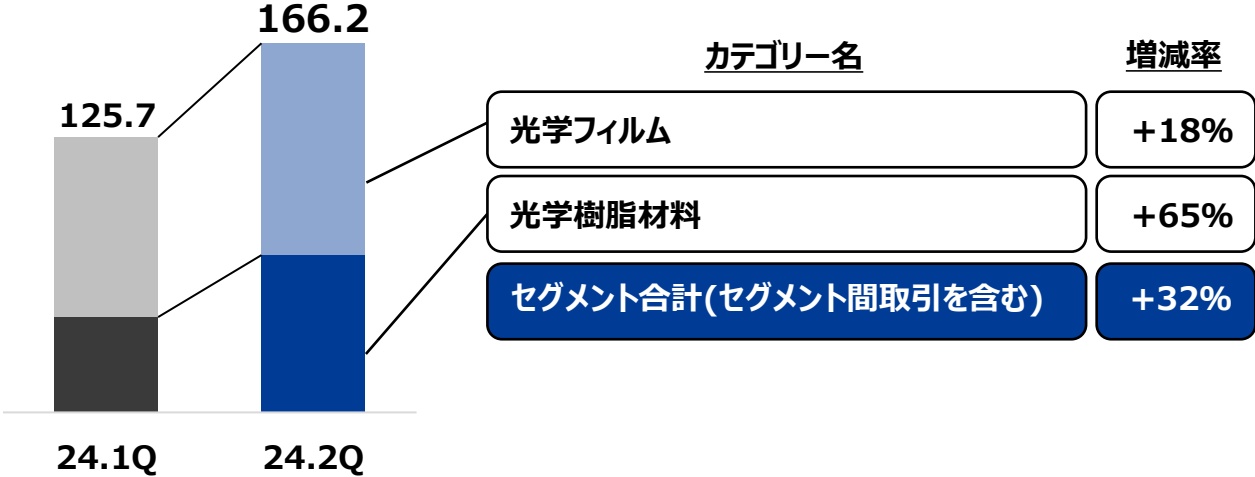
(注) ノートブックPCはデスクトップモニターを含む

FY24.2Q セグメント別概況（前四半期比）

◆光学材料部品セグメント カテゴリー別売上

(単位：百万円)

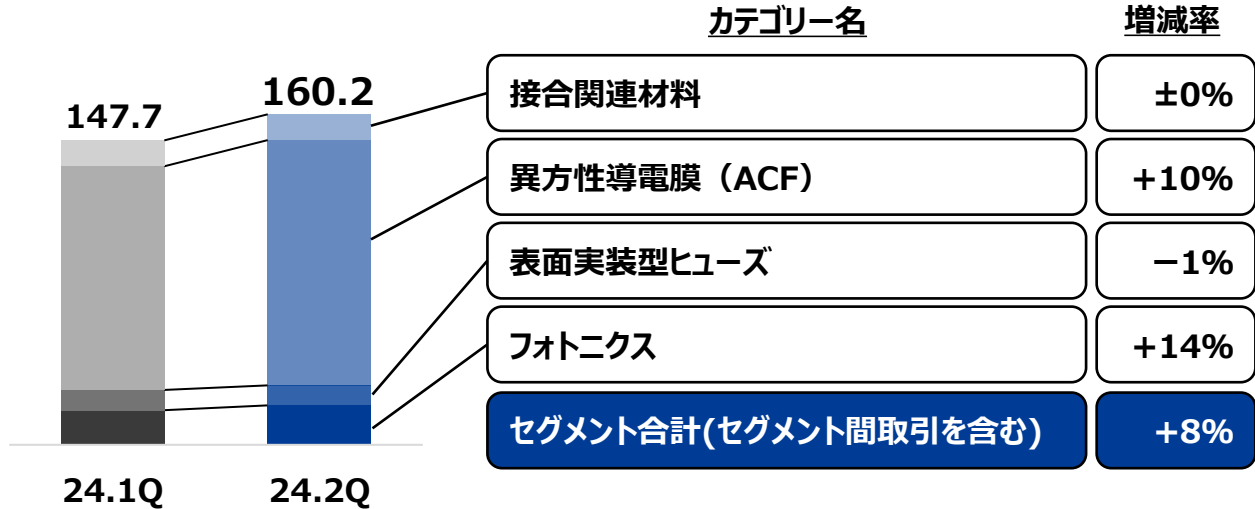
	24.1Q	24.2Q	増減率
売上高	12,573	16,624	+32.2%
事業利益	3,641	6,342	+74.2%
EBITDA	4,489	7,176	+59.9%



◆電子材料部品セグメント カテゴリー別売上

(単位：百万円)

	24.1Q	24.2Q	増減率
売上高	14,765	16,019	+8.5%
事業利益	5,953	6,381	+7.2%
EBITDA	6,715	7,183	+7.0%



2024年9月末 連結財政状況

◆連結バランスシートサマリー

(単位：百万円)

	2024年3月末	2024年9月末	増減額
現金及び現金同等物	35,328	42,307	+6,978
流動資産	69,442	78,985	+9,543
有形固定資産	37,390	47,262	+9,871
非流動資産	70,931	82,117	+11,185
資産合計	140,373	161,102	+20,728
有利子負債	23,198	21,536	-1,662
負債合計	55,251	63,510	+8,259
資本合計	85,122	97,591	+12,469
負債及び資本合計	140,373	161,102	+20,728

自己資本比率	60.6%	60.6%	-0.1%pt
ネットD/Eレシオ	-0.14	-0.21	-0.07

FY24.1H 連結C/Fサマリー

(単位：百万円)

	FY23.1H	FY24.1H	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	7,841	19,711	+11,869
投資活動による キャッシュ・フロー	-6,358	-5,133	+1,224
フリー・ キャッシュ・フロー	1,483	14,577	+13,093
現金期末残高	25,281	42,307	+17,025

(参考) FY24.1H 地域別売上高

(単位：百万円)

	FY23.1H		FY24.1H		増減額
	構成比		構成比		
日本	22.5%	11,135	26.6%	15,855	+4,720
中国	31.8%	15,754	27.5%	16,425	+671
韓国	16.0%	7,924	14.3%	8,528	+603
台湾	17.7%	8,780	18.6%	11,063	+2,283
その他	12.1%	6,000	13.0%	7,761	+1,760
海外	77.5%	38,460	73.4%	43,779	+5,318
合計	100.0%	49,595	100.0%	59,635	+10,039

(参考) 四半期データ

(単位：百万円)

	日本基準					IFRS				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY22	1Q	2Q	3Q	4Q	FY23
売上高	26,775	31,422	29,029	18,940	106,167	20,858	28,737	31,121	24,480	105,198
営業利益**	8,303	11,286	9,710	2,987	32,288	4,864	10,180	11,612	6,762	33,421
営業利益率**	31.0%	35.9%	33.4%	15.8%	30.4%	23.3%	35.4%	37.3%	27.6%	31.8%
当期純利益*	4,660	7,799	6,186	2,039	20,685	3,224	6,251	7,367	4,538	21,382
1株当たり当期純利益*	-	-	-	-	129.77円	-	-	-	-	136.03円
1株当たり配当額	-	-	-	-	21.7円	-	-	-	-	33.3円
自己株式取得総額	-	-	-	-	8,999	-	-	-	-	5,999
総還元性向 (のれん償却前)	-	-	-	-	56.6%	-	-	-	-	50.8%
経営指標										
EBITDA	9,979	12,981	11,430	4,709	39,101	6,534	11,848	13,244	8,396	40,024
ROIC	-	-	-	-	24.4%	-	-	-	-	22.3%
ROE	-	-	-	-	30.3%	-	-	-	-	27.1%
(参考) のれん償却前	-	-	-	-	33.6%	-	-	-	-	30.0%
設備投資額	2,233	1,323	1,627	8,742	13,926	1,413	1,294	1,735	3,039	7,482
減価償却費	1,120	1,138	1,163	1,192	4,615	1,147	1,144	1,107	1,111	4,510
のれん償却費	570	570	570	570	2,283	570	570	570	570	2,283
研究開発費	1,020	1,069	1,117	1,066	4,274	1,122	1,122	1,227	1,233	4,706
為替レート (円/米ドル)	129.6	138.4	141.6	132.3	135.5	137.4	144.6	147.9	148.6	144.6

		IFRS			
23.1Q (参考)	23.2Q (参考)	1Q	2Q	FY24 見通し	
20,858	28,737	27,176	32,458	107,000	
5,378	10,767	9,595	12,724	33,500	
25.8%	37.5%	35.3%	39.2%	31.3%	
3,684	6,713	6,689	9,167	23,000	
-	-	-	-	132.20円	
-	-	-	-	52円	
-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	
6,709	12,106	11,204	14,360	39,500	
-	-	-	-	18.8%	
-	-	-	-	25.5%	
-	-	-	-	-	
1,413	1,294	1,321	2,261	20,000	
1,379	1,386	1,623	1,650	6,000	
-	-	-	-	-	
1,122	1,122	1,208	1,317	6,200	
137.4	144.6	155.9	149.4	146.3	

*当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益 (FY22, FY23) および親会社の所有者に帰属する当期利益 (FY24) に読み替え

**FY24から営業利益に替えて、事業利益・事業利益率を記載しております

(注) 1株当たり当期利益と配当額は株式分割後を記載しております

23.1Q(IFRS)の減価償却費は投資家の皆様の利便性のために簡易的に作成した参考情報です

IFRSの設備投資額はリース契約にかかる固定資産を除いております

(参考) 四半期データ (セグメント別)

(単位：百万円)

	日本基準					IFRS									
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY22	1Q	2Q	3Q	4Q	FY23	23.1Q (参考)	23.2Q (参考)	1Q	2Q	FY24 見通し
光学材料部品セグメント															
売上高	13,231	17,432	15,446	9,273	55,384	9,186	14,504	15,898	11,863	51,453	9,186	14,504	12,573	16,624	50,000
営業利益*	4,303	6,620	5,355	1,690	17,969	1,989	5,084	5,853	3,113	16,040	1,961	5,091	3,641	6,342	13,500
営業利益率*	32.5%	38.0%	34.7%	18.2%	32.4%	21.7%	35.1%	36.8%	26.2%	31.2%	21.4%	35.1%	29.0%	38.2%	27.0%
EBITDA	4,838	7,160	5,900	2,240	20,142	2,496	5,568	6,287	3,534	17,887	2,604	5,670	4,490	7,176	16,700
電子材料部品セグメント															
売上高	13,693	14,201	13,779	9,820	51,495	11,810	14,407	15,400	12,768	54,387	11,810	14,407	14,765	16,019	57,000
営業利益*	4,447	5,112	4,802	1,744	16,106	3,322	5,543	6,205	4,096	19,167	3,416	5,675	5,953	6,381	20,000
営業利益率*	32.5%	36.0%	34.9%	17.8%	31.3%	28.1%	38.5%	40.3%	32.1%	35.2%	28.9%	39.4%	40.3%	39.8%	35.1%
EBITDA	5,140	5,821	5,529	2,469	18,958	4,038	6,280	6,956	4,860	22,135	4,104	6,436	6,715	7,183	22,800
連結合計															
売上高	26,775	31,422	29,029	18,940	106,167	20,858	28,737	31,121	24,480	105,198	20,858	28,737	27,176	32,458	107,000
営業利益*	8,303	11,286	9,710	2,987	32,288	4,864	10,180	11,612	6,762	33,421	5,378	10,767	9,595	12,724	33,500
営業利益率*	31.0%	35.9%	33.4%	15.8%	30.4%	23.3%	35.4%	37.3%	27.6%	31.8%	25.8%	37.5%	35.3%	39.2%	31.3%
EBITDA	9,979	12,981	11,430	4,709	39,101	6,534	11,848	13,244	8,396	40,024	6,709	12,106	11,204	14,360	39,500

* FY24から営業利益に代わり、事業利益・事業利益率を記載しております

(注) 売上高にはセグメント間取引を含む

セグメント利益の合計と連結営業利益の差異はセグメントに帰属しないのれん償却額に相当(FY22,23)

(参考) FY24 為替感応度

	通期 見通し
売上高 (億円)	6.1
事業利益 (億円)	5.4

(参考) 前提為替レート (円/米ドル)	1H 実績	2H 見通し	通期 見通し
	152.6	140.0	146.3

ESGの取り組み

フィロソフィー	2024年	5月	パーパス「Empower Evolution. つなごう、テクノロジーの進化を。」を策定
E 環境	2021年	5月	CO2排出削減長期目標を設定： 「2030年度の事業由来の電力消費によるCO2排出量をゼロ」へ
		9月	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同 およびTCFDコンソーシアムへの加入
		3月	(株)アールプラスジャパンに資本参加（使用済プラスチックの再資源化事業に取り組む共同出資会社）
	2023年	11月	TCFD提言に沿った情報開示（Scope 3 の算定結果を新たに公表）
S 社会	2020年	4月	「健康経営宣言」を制定し、2030年のありたい姿に向け、取り組みをスタート
	2021年	4月	リモートワークを制度化し、働き方の多様化を推進
	2024年	4月	ジョブ型人事制度を国内外のグループ会社を含めた全社員に導入
G ガバナンス	2019年	7月	指名・報酬委員会の設置、委任型執行役員制度導入、権限委譲の拡大
	2021年	6月	監査等委員会設置会社移行、役員報酬決定方針改定、 全執行役員委任契約移行、権限委譲の拡大
		7月	本社を栃木県下野市に移転、東京のオフィスを東京都中央区京橋に移転
	2024年	6月	役員報酬制度の見直し（株式報酬比率の引き上げ、サステナビリティ戦略目標の達成度反映など）
情報発信	2024年	11月	「デクセリアルズ統合レポート 2024」を発行予定

ESG 外部評価・その他

「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index*」

**2024年6月
構成銘柄に連続選定**



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

英国FTSE Russell 社が提供するグローバル基準を満たす日本企業を対象としたESG投資株価指数

「MSCI**日本株ESGセレクト・リーダーズ指数」
「MSCI**日本株女性活躍指数（WIN）」

**2024年6月
構成銘柄に連続選定**


2024 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数

**2024年6月
構成銘柄に連続選定**

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

「JPXプライム150指数」

**2024年9月
構成銘柄に初選定**



価値創造が推定される我が国を代表する企業で構成される指数

「JPX日経インデックス400」

**2024年8月
構成銘柄に3年連続で選定**




JPX-NIKKEI 400

株式会社JPX総研および株式会社日本経済新聞社が共同で算出するインデックス

「SOMPOサステナビリティ・インデックス」

**2024年6月
構成銘柄に連続選定**

SOMPOアセットマネジメント株式会社が
独自に設定するアクティブ・インデックス



2024
Somo Sustainability Index

「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」

**2024年4月
4年連続で認定**



2024
健康経営優良法人
Health and productivity

「IRウェブサイト調査」

**2024年1月
主要3社で
高評価獲得**



企業ホームページ
最優秀サイト
2023
日興アイ・アール
総合部門



IRサイト
総合ランキング
銀賞
2023年



Internet IR
優良賞
2023
Dexera Investor Relations

*登録商標 FTSE Russellについて：FTSE Russell（FTSE International LimitedとFrank Russell Companyの登録商標）は、ここにデクセリアルズ株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

**デクセリアルズがMSCIインデックスに採用されていること、及びMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社によるデクセリアルズへの後援、保証、販促には該当しません。MSCIインデックスはMSCIに独占権があり、MSCI、MSCIインデックス名及びロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

2024年9月末 自己株式の保有状況

項目	発行済株式数に占める割合	株式数
発行済株式数	100.0%	180,672,600株
普通株式（自己株式除く）	95.3%	172,270,107株
自己株式	4.7%	8,402,493株
インセンティブ目的以外で保有する自己株式数	0.0%	0株
インセンティブ目的として保有する自己株式数	4.7%	8,401,458株
株式給付信託（J-ESOP）	4.0%	7,214,400株
株式給付信託（BBT）	0.2%	315,300株
譲渡制限付株式	0.5%	871,758株
その他	0.0%	1,035株

(注) 株式分割考慮後の株式数を記載しております

(参考) 日本基準とIFRSの比較



事業利益を設定

- 本業から創出される利益であり、日本基準の『営業利益』に相当 (のれんは償却せず)

Our Purpose & Sustainability

Purpose

Empower Evolution.

つなごう、テクノロジーの進化を。

Empower Evolution.

Connect People and Technology.

人と技術をつなごう。
社会と希望をつなごう。

デジタルテクノロジーの
進化に欠かせない材料やデバイス、
ソリューションを生み出して、
ここから世の中を変えていこう。

私たちデクセリアルズは、
お客さまと一緒に明日を思い描き、
課題を一つひとつ解決していく。
技術と人を巧みに掛け合わせ、
新たな進化を生み出していく。

さあ、今日も挑戦しよう。
もっと豊かで、もっと効率的な社会へ。
あらゆるステークホルダーが、
いつまでも心地よく暮らせる世界を目指して。

Materiality

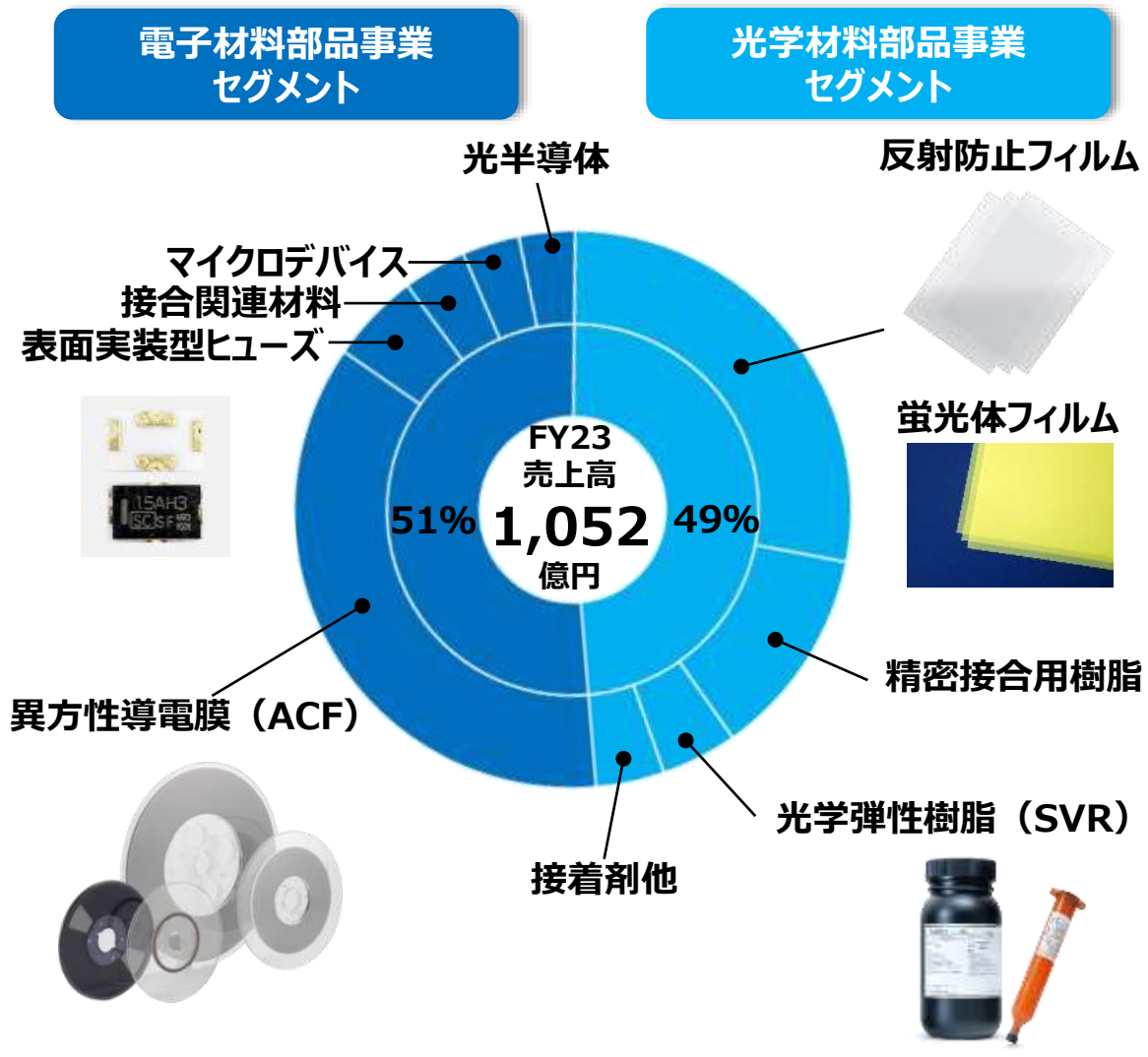
「技術」と「人財」の強化

10年後のありたい姿

- より広い領域でデジタル・テクノロジーの進化に貢献
- 社会的価値と経済的価値を創出し、持続的成長を実現

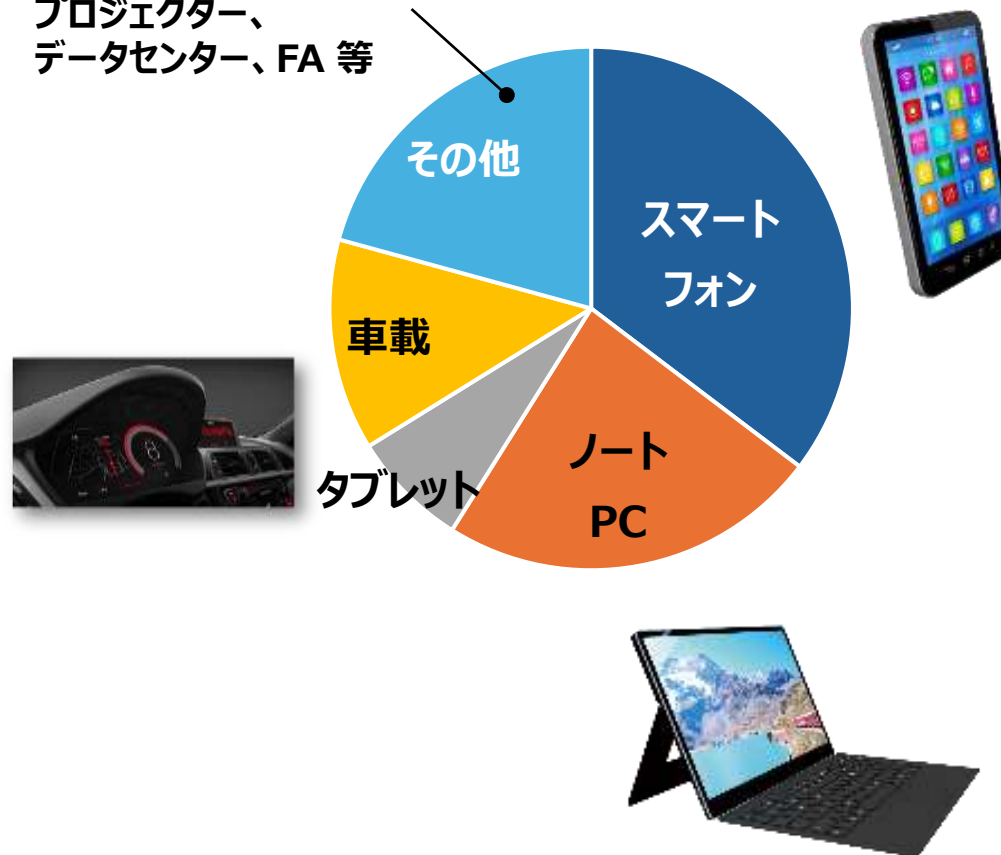
売上高構成

■ カテゴリー別売上高 (FY23)



■ アプリケーション別売上高 (FY23)

電動工具、E-Bike、
プロジェクター、
データセンター、FA 等



当社製品×最終製品

反射防止フィルム



ノートPCディスプレイ等の光学機器の表面で発生する光の反射を抑制することで視認性の悪化を防止するための光学フィルムです

光学弾性樹脂(SVR)



スマートフォン・タブレット・ノートPC等のディスプレイ内部にあるエアギャップを埋め、光の屈折・反射を抑える紫外線硬化型の弾性樹脂です

精密接合用樹脂



カメラモジュール



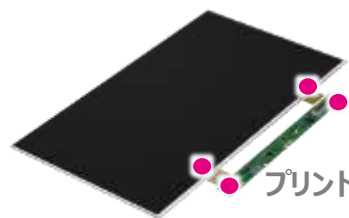
光ピックアップ

紫外線、熱、紫外線+熱で硬化する接合用樹脂です。低温短時間での硬化と低収縮を実現する、スマートフォン等のカメラやセンサーのモジュールの精密接合に最適な接着剤です

異方性導電膜(ACF)



● 異方性導電膜(ACF)



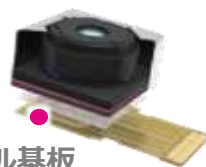
プリント回路基板

大型ディスプレイ
(TV)



フレキシブル基板

中小型ディスプレイ
(スマホ・タブレット・
ノートPC)



カメラ
モジュール

ほぼ全てのフラット パネル ディスプレイで使われるデファクト・スタンダードの接合材料です。熱硬化性の樹脂に導電粒子を分散させた導電性の接着フィルムで、ドライバーICやセンサーモジュールと、基板を導電接続します

表面実装型ヒューズ



リチウムイオンバッテリー搭載の電子機器を安全に使用するための二次保護回路ヒューズです。リチウムイオンバッテリーの「過電流」と「過充電」時にヒューズエレメントを溶断することで電池の安全性を向上させます

当社製品×最終製品

異方性導電膜(ACF)



光学弾性樹脂(SVR)



反射防止フィルム



自動車ディスプレイ



ディスプレイの電子化や画面の大型化・高精細化により、高い反射防止機能と防汚性能を持つ当社の反射防止フィルムの採用が進んでいます。その他にも、光学弾性樹脂（SVR）や異方性導電膜（ACF）等も自動車ディスプレイ向けに伸長しています

精密接合用樹脂



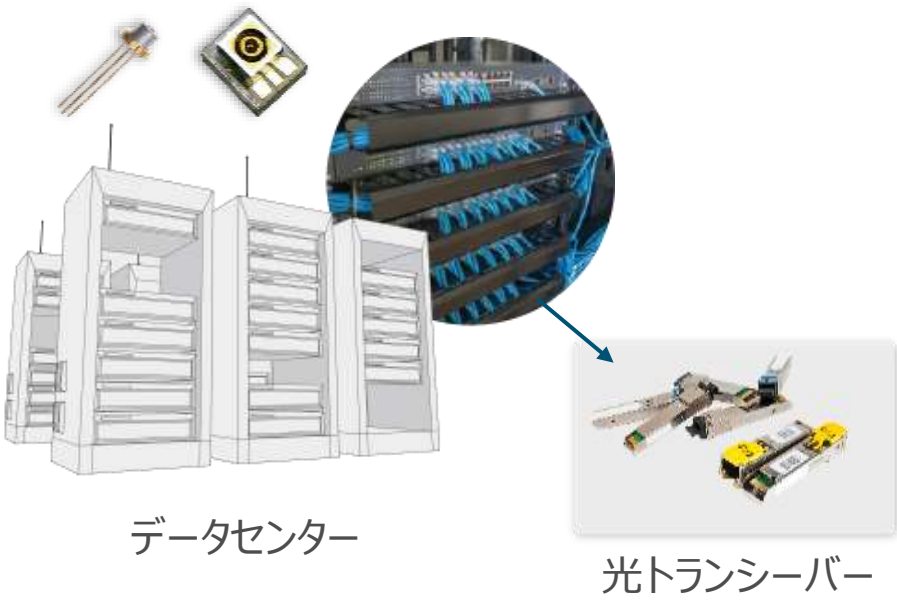
車載センサー



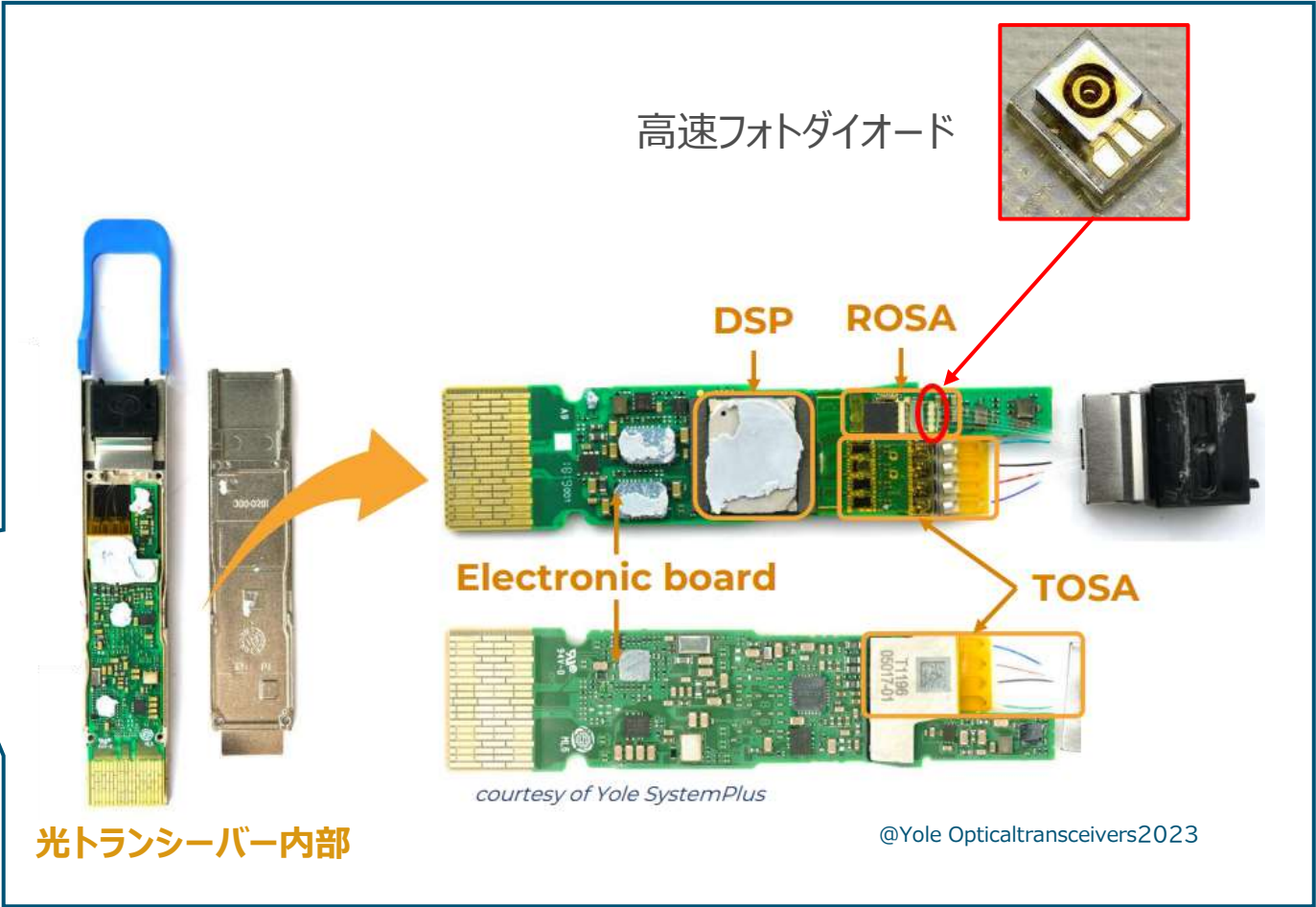
先進運転支援システム（ADAS）の進化に伴い、自動車一台当たりの車載センサーの搭載数が増加しており、センサーモジュール向けに当社の精密接合用樹脂の採用が進んでいます

当社製品×最終製品

光半導体デバイス



電気を光に、光を電気に変換する半導体素子を総称して「光半導体」と呼び、これらが組み込まれた電子部品が光半導体デバイスです。各種データセンター向け光トランシーバー等に当社製品が採用されています



主力製品はニッチな市場で世界シェアNo.1

世界シェアトップの機能性材料が安定した成長の源泉



異方性導電膜 (ACF)

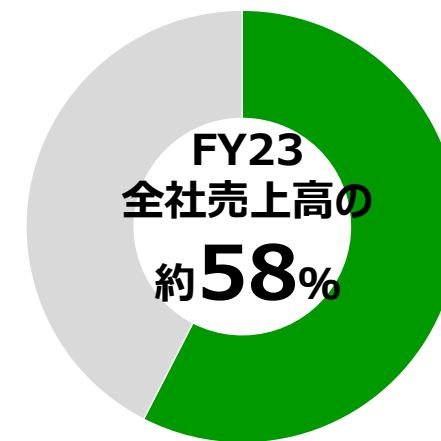


反射防止フィルム



光学弾性樹脂 (SVR)

主力3製品の売上高



海外売上高比率 (FY23)

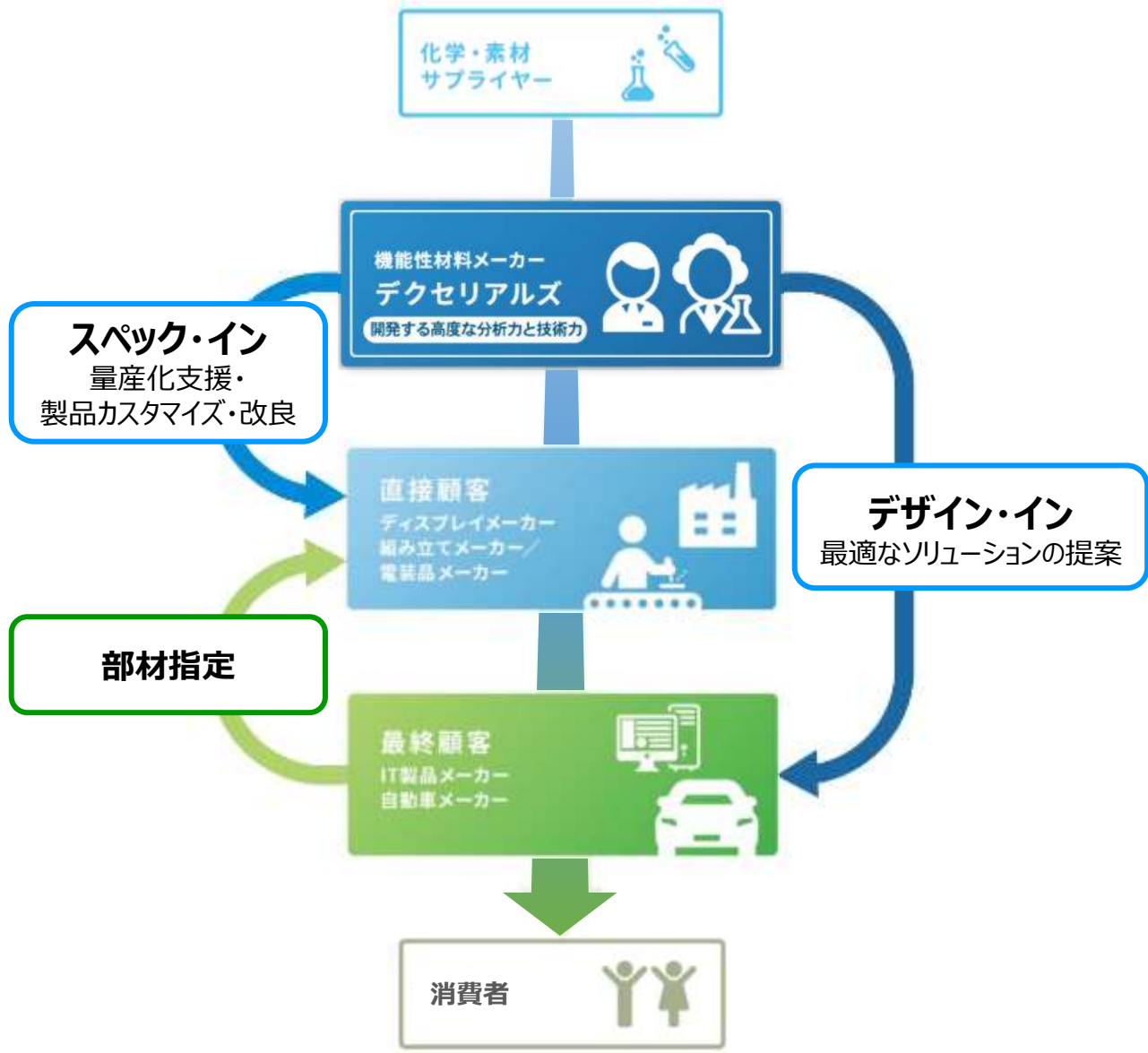
約78%

※1: 株式会社富士キメラ総研発行「2024ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、大型および中小型ディスプレイ向けACFの合計の2023年の金額シェア。

※2: 株式会社富士キメラ総研発行「2024ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、表面処理フィルム（ドライコート）の2023年の金額シェア。

※3: 株式会社富士キメラ総研発行「2024ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、ディスプレイの貼り合わせで使用される光学透明接着剤（OCR/LOCA）の2023年の金額シェア。光学弾性樹脂（SVR）は、光学透明接着剤の当社製品名です。

当社のビジネスモデル – シングルソース製品の創出 –



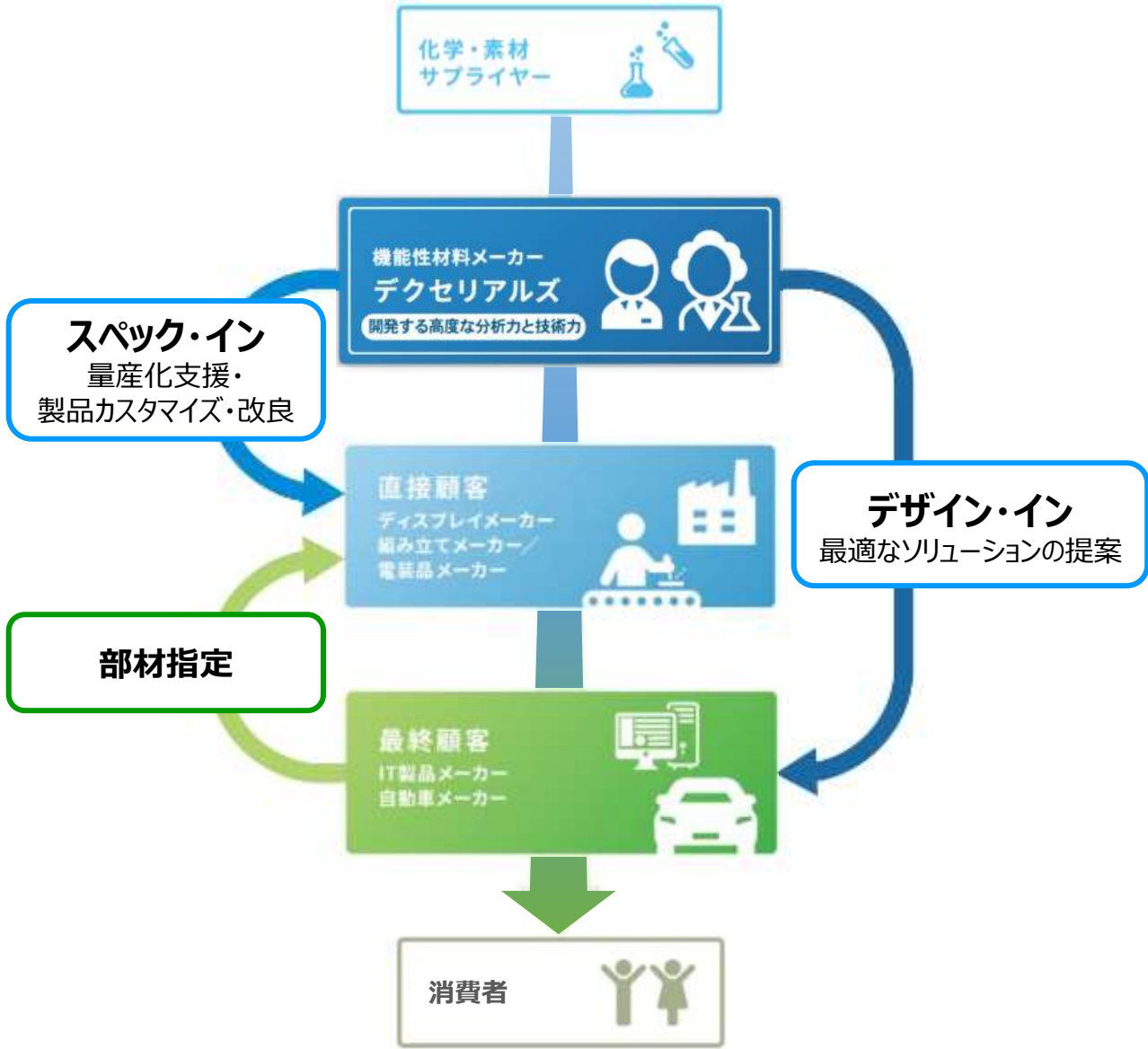
**デザイン・イン: 当社独自のアプローチで
シングルソース製品を創出**

- 最終顧客に直接アプローチし、将来の技術／製品についての課題や要望を引き出す
- 顧客の課題や技術トレンドを先回りした最適なソリューションを開発・提案
- 高度にカスタマイズされた当社のシングルソース製品が最終顧客から直接顧客に部材指定

シングルソース製品の拡大

- 新たな市場を創出
- 高付加価値で価格決定力の強い製品の拡大が、高い収益率を維持し、事業成長に繋がる

当社のビジネスモデル – 新規領域にも展開、持続的成長へ –

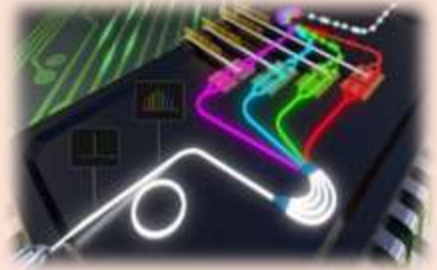


ビジネスモデルが生み出すソリューション

- 社会の効率を実現する技術の進化に不可欠
- 経済価値と社会価値を創出し、サステナブルな成長が可能に

ビジネスモデルを新規領域へ展開し、持続的な成長を達成していく

- 今後社会課題の解決に必要な技術の進化が求められる自動車やフォトリソグラフィーの領域へ、当社のビジネスモデルを展開



株価とEBITDAの推移

中期経営計画2018
「変革と成長」

中期経営計画2023
「進化への挑戦」

中期経営計画2028
「進化の実現」

当社株価 (円)

2019年
新家由久が
社長就任

前中計期間の
株価リターン

株主
総利回り
(配当込)

+852%

24年9月30日時点
株価 2,026円
時価総額 3,660億円
(株式分割考慮後)

19年3月末 245円
(株式分割考慮後)

EBITDA (億円)

131

85

116

97

108

176

325

391

400

395

640

FY15
実績

FY16
実績

FY17
実績

FY18
実績

FY19
実績

FY20
実績

FY21
実績

FY22
実績

FY23
実績

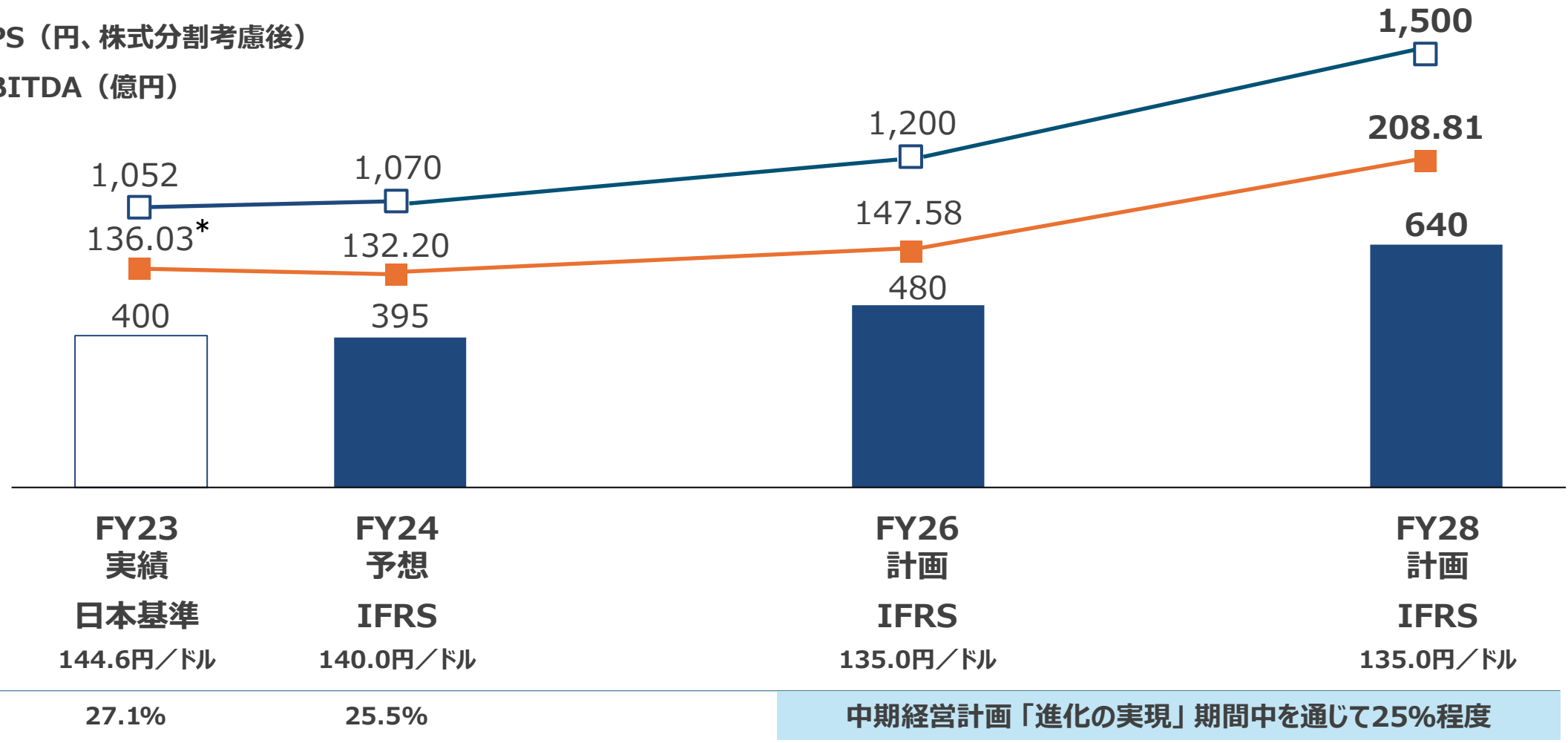
FY24
見通し

FY28
計画

中期経営計画2028「進化の実現」

位置づけ 成長投資と株主還元の両立により
持続的成長と企業価値向上を実現する

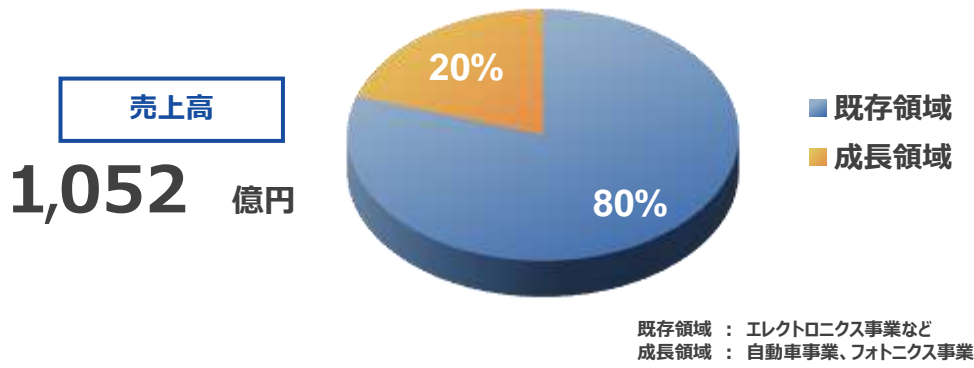
- 売上高 (億円)
- EPS (円、株式分割考慮後)
- EBITDA (億円)



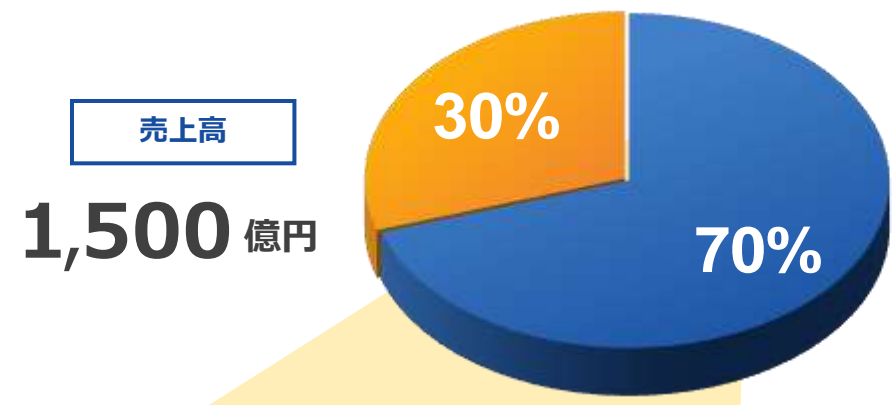
*のれん償却前EPS

中期経営計画2028「進化の実現」における事業成長

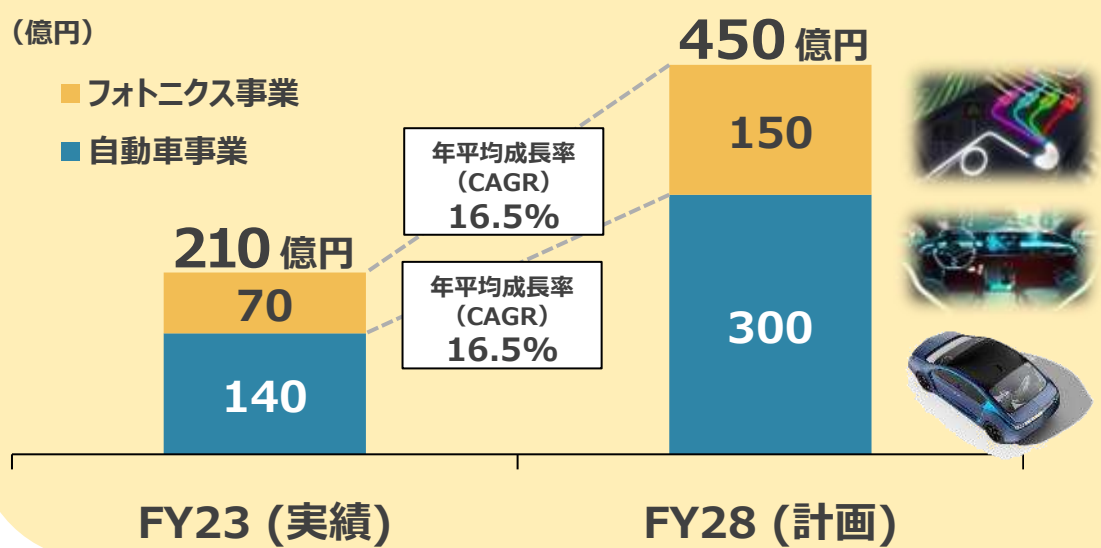
2023年度（実績）



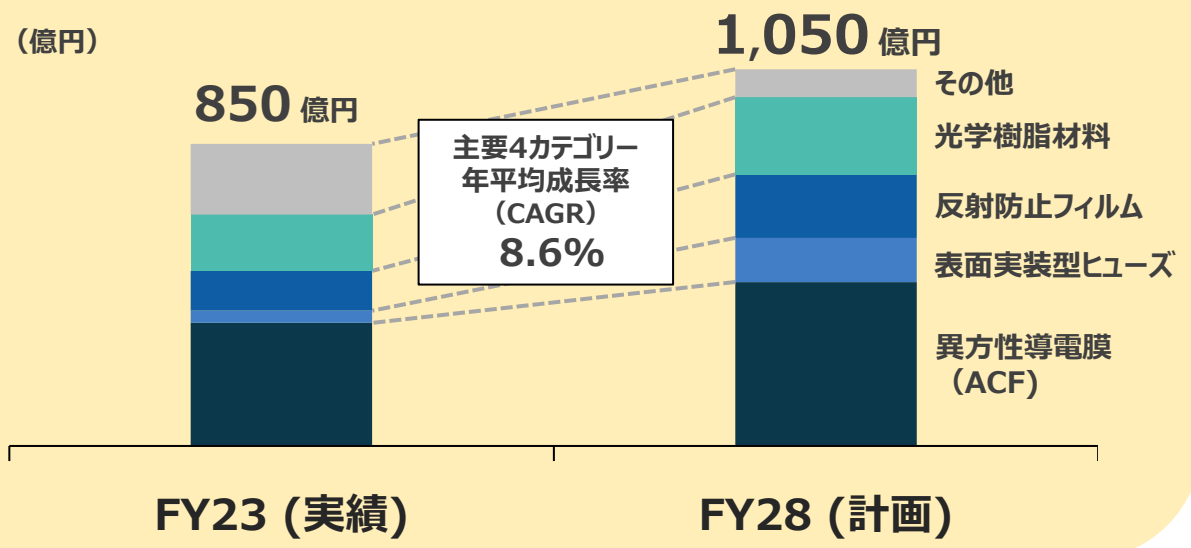
2028年度（計画）



成長領域 事業規模（売上高）



既存領域 事業規模（売上高）



先進的なコーポレート・ガバナンス体制

- ✓ 2019年～
 - 指名・報酬委員会の設置

- ✓ 2021年～
 - 監査等委員会設置会社へ移行
 - 役員報酬の評価基準にTSRを採用

- ✓ 2024年～
 - 株式報酬制度に譲渡制限付株式を活用
 - 代表取締役の報酬構成の見直し

金銭報酬		株式報酬
固定報酬 30%	変動報酬 70%	
基本報酬 30% <small>見直し前: 50%</small>	STI 30%	LTI 40% <small>見直し前: 20%</small>

取締役会



新家 由久
代表取締役社長



佐竹 俊哉
代表取締役



横倉 隆
取締役



田口 聡
取締役



萩原 利仁
取締役

監査等委員会



佐藤 りか
取締役
監査等委員長



谷口 正人
取締役
常勤監査等委員



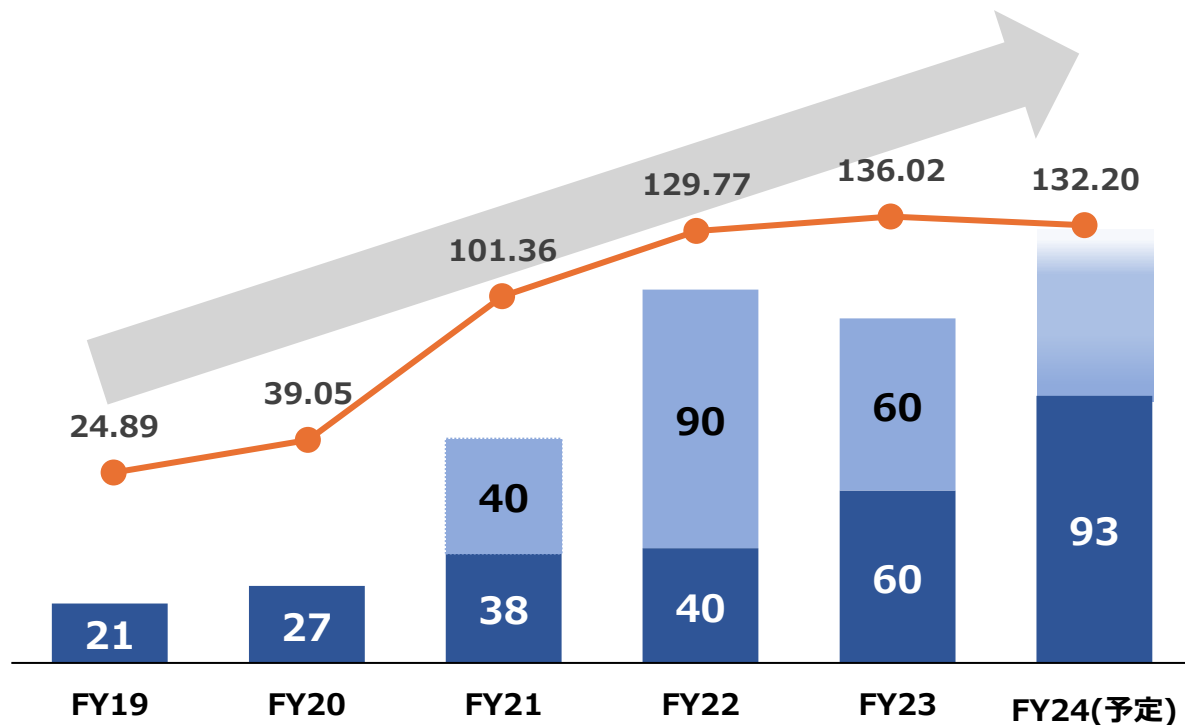
加賀谷 哲之
取締役
監査等委員

社内
3名

社外
5名

株主還元

■ 配当総額（億円） ■ 自己株式取得総額（億円） ● のれん償却前EPS（円）



◆ 還元方針

総還元性向60%目途

連結配当性向40%目途

DOE7%*を下限

◆ 株式分割

目的：当社株式の流動性向上と投資層の拡大

効力発生日：2024年10月1日

分割比率：1 対 3

のれん償却前EPS*	24.89円	39.05円	101.36円	129.77円	136.02円	132.20円
年間配当金	11.3円	14.7円	20.0円	21.7円	33.3円	52.0円
配当性向	75.6%	50.3%	21.8%	18.5%	27.1%	39.3%
DOE	4.2%	5.2%	6.2%	5.6%	7.3%	9.8%
総還元性向 (のれん償却前)	45.6%	42.2%	42.3%	56.6%	50.8%	-

- ▶ 中間配当金：78円（分割前、分割後26円）
- ▶ 期末配当金26円とあわせて年間52円の予定

現金配当と機動的な自己株式の取得により
中計期間累計で総還元性向で純利益の60%を
目途に実施

*前期末純資産の7%

(注) のれん償却前EPSの計算における当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益（FY19-FY23）および親会社の所有者に帰属する当期利益(FY24予定)を使用
配当性向はFY23まではのれん償却後EPSを使用
のれん償却前EPSおよび年間配当金はFY19の期首に株式分割がおこなわれたと仮定して算出

2012年ソニーから独立。2015年上場

1962
ソニーケミカ
創業



※1: 株式会社富士キメラ総研発行「2024ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、大型および中小型ディスプレイ向けACFの合計の2023年の金額シェア。
※2: 株式会社富士キメラ総研発行「2024ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、表面処理フィルム（ドライコート）の2023年の金額シェア。
※3: 株式会社富士キメラ総研発行「2024ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、ディスプレイの貼り合わせで使用される光学透明接着剤（OCR/LOCA）の2023年の金額シェア。
光学弾性樹脂（SVR）は、光学透明接着剤の当社製品名です。

Empower Evolution.

つなごう、テクノロジーの進化を。



質疑応答



Empower Evolution.

つなごう、テクノロジーの進化を。

